

長岡市児童館・児童クラブの民間事業者への業務委託に関する
サウンディング型市場調査対話結果の公表について

1 調査の目的等

長岡市の児童館・児童クラブは、「地域の子どもは地域で見守り育む」という理念のもと、地域の推進協議会への業務委託を中心に運営しています。

児童クラブを利用する児童数は増加傾向にあり、配慮を要する児童への対応等、多様化するニーズへの対応が求められています。

多様化するニーズに対応していくためには、職員の質の向上やさらなる人材の確保が必要となりますが、多くの地域が人材の確保や事務負担の増加等の課題を抱えています。

上記のような状況の改善と、全地域偏りない安全・安心なサービスの拡充を目指して、子どもたちにとってより良い児童館・児童クラブの環境を整えるとともに、事務の効率化による持続可能な運営体制を実現するため、本市としては、全ての児童館・児童クラブの業務を一括で民間事業者へ業務委託し、民間事業者のノウハウやアイデアを活かした運営体制への移行を検討しています。

そこで、業務委託にあたり、前記目的を実現する公募条件等を整理するため、サウンディング型市場調査を実施しました。

2 サウンディングの実施スケジュール

1	実施要領の公表	令和6年4月25日（木曜日）
2	回答受付期間	令和6年4月25日（木曜日）～5月10日（金曜日） <u>正午</u>
3	児童館・児童クラブ見学日	令和6年5月14日（火曜日）～5月15日（水曜日）
4	対話実施期間	令和6年5月15日（水曜日）～5月20日（月曜日）
5	実施結果の公表	令和6年5月31日（金曜日）

3 サウンディング参加者

参加者数	8事業者
------	------

※以下の理由から、具体的な参加者名の公表は控えさせていただきます。

- ・率直な意見交換や意思決定の中立性が損なわれるおそれがある。
- ・保護者や地域住民等を混乱させるおそれがある。
- ・その他当該事業の公正かつ能率的な遂行を阻害するおそれがある。

4 サウンディング結果の概要

質問項目	対話概要
(1)他自治体での児童館や児童クラブ業務の受託実績について	・受託実績あり…4社 ・受託実績なし…4社

<p>(2) 長岡市の児童館・児童クラブの受託可能規模</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての児童館・児童クラブ(65 地域)の受託が可能 ・1/6 程度の規模の児童館・児童クラブ(10 地域程度)の受託が可能
<p>(3) (2) の規模で受託する場合の運営体制について</p>	<p>【全ての児童館・児童クラブを受託する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の児童館・児童クラブを複数ブロックに分け、ブロックごとに管理者を配置する。各ブロックの管理者がブロック内の児童館・児童クラブの現場のフォロー等を行う。 ・その他、長岡市との調整や各ブロックの管理者の取りまとめを行う職員、児童厚生員等の勤怠管理を行う職員を配置する。 <p>【1/6 程度の規模の児童館・児童クラブを受託する場合】</p> <p><パターン①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受託したエリアの児童館・児童クラブをまとめる管理者や、児童厚生員の指導やサポートを行う職員を配置して運営する。 ・その他、市との調整を行うスタッフや児童厚生員等の勤怠管理を行う職員を配置する。 <p><パターン②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受託したエリアの児童館・児童クラブを複数ブロックに分け、ブロックごとに管理者を配置する。 ・各施設ごとに責任者を配置し、児童館・児童クラブの運営を行う。
<p>(4) ICT の提案について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の出欠連絡、入退室管理、緊急時の連絡等の保護者との連絡ツール ・延長利用料金の徴収システム ・職員の勤怠管理システム
<p>(5) コミュニティセンター、小学校等の関係機関の連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回程度の定例会議等、定期的に関係機関と情報共有を図る。 ・連絡・調整が必要な内容や頻度について、関係機関と事前に協議し、話し合いができる体制を整えておく。 ・コミュニティセンターや小学校と話し合いを重ねながら、連携を図っていく。 ・地域が実施するイベント等への参加協力を行う。
<p>(6) 児童厚生員の質の向上について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入社時研修、児童福祉に特化した専門研修、キャリアアップ研修を実施する。 ・有識者等の外部講師を招いた研修を実施する。 ・勤続年数や職位に応じた階層別研修(子どもの発達理解、安全対策、保護者対応等)を実施する。 ・職員が共通認識のもと業務に従事できるよう、施設内研

修を実施する。

- ・現場での配慮児対応等のサポートができる体制を整える。
- ・子どもの見守り、衛生管理、虐待等について、自己の知識・技術の取得状況をチェックシートを活用しながら確認し、厚生員のレベルの標準化を図る。

5 サウンディングを踏まえた今後の方針

今回のサウンディングでは、児童館・児童クラブの民間事業者への業務委託について、運営規模や運営方法など具体的な御提案をいただくことができました。

今回の結果を踏まえて、今後、児童館・児童クラブの民間事業者への業務委託について具体的な運営方法の検討を進めて参ります。